

【演習の目的】

我が国防衛のための日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で17回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和6年10月23日(水)～11月1日(金)の間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和6年度日米共同統合演習(実動演習)について

その他関連する訓練

- 統合後方補給
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙状況監視に係る連携
- 統合電磁波作戦訓練



統合防空ミサイル防衛



空挺作戦




水陸両用作戦





統合対艦攻撃



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。



令和6年度日米共同統合演習(実動演習)の 長崎県における訓練について

同演習において実施する長崎県内の訓練は、

① 陸上作戦(共同／協同基地等警備訓練)

対馬:海栗島分屯基地、上対馬警備所、下対馬警備所、対馬駐屯地、対馬空港、対馬権現山、比田勝港、
豊玉発電所、厳原港、千俵蒔山、権現山展望台、隠蔵寺、木斛山

福江島分屯基地、海自佐世保基地、崎辺分屯地、大村航空基地、長崎空港、佐世保港、岳ノ辻、五家原岳、
県民の森

米海軍施設(米軍佐世保基地、米軍貯油所、米軍弾薬庫)

② 航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練)

長崎空港、福江空港

③ 航空作戦(基地防空部隊の機動展開)

海栗島分屯基地

④ 統合電磁波作戦訓練

相浦駐屯地

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

長崎県内で実施を計画している訓練内容

①陸上作戦(共同／協同基地等警備訓練)

陸上自衛隊及び米軍の部隊が自衛隊基地等に展開し、各部隊による基地等警備訓練及び通信訓練を実施します。通信訓練においては電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運行等に影響しない周波数を使用します。なお、実弾は使用しません。

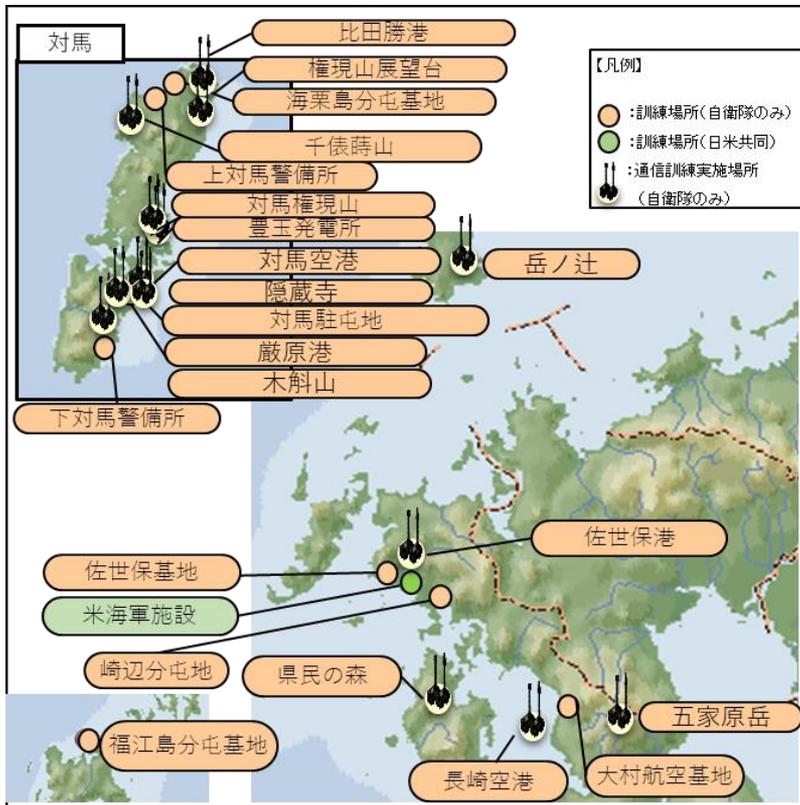
【期 間】 令和6年10月23日(水)～11月1日(金) (前後に準備期間及び撤収期間を設定)

※夜間訓練及び空包使用を含みます。

【参加部隊】 陸上自衛隊:西部方面隊 第4師団 第16普通科連隊、対馬警備隊、第4通信大隊

海上自衛隊:佐世保地方隊

米軍:佐世保海軍施設所属部隊



人数等

| 場 所 | 主に展開する部隊 |
|---------|----------------|
| 岳ノ辻 | 第4通信大隊 約10名 |
| 佐世保港 | 第16普通科連隊等 約5名 |
| 五家原岳 | 第4通信大隊 約10名 |
| 海自佐世保基地 | 第16普通科連隊等 約50名 |
| 米軍佐世保基地 | 第16普通科連隊等 約50名 |
| 米軍貯油所 | 第16普通科連隊等 約50名 |
| 米軍弾薬庫 | 第16普通科連隊等 約50名 |
| 崎辺分屯地 | 第16普通科連隊等 約50名 |
| 長崎空港 | 第16普通科連隊等 約5名 |
| 海自大村基地 | 第16普通科連隊等 約50名 |
| 県民の森 | 第4通信大隊等 約10名 |
| 福江島分屯基地 | 第16普通科連隊等 約50名 |
| 下対馬警備所 | 対馬警備隊等 約50名 |
| 対馬駐屯地 | 対馬警備隊等 約50名 |
| 対馬空港 | 対馬警備隊等 約5名 |
| 対馬権現山 | 第4通信大隊等 約10名 |
| 上対馬警備所 | 対馬警備隊等 約50名 |
| 海栗島分屯基地 | 対馬警備隊等 約50名 |
| 比田勝港 | 対馬警備隊等 約5名 |
| 豊玉発電所 | 対馬警備隊等 約5名 |
| 厳原港 | 対馬警備隊等 約5名 |
| 千俵蒔山 | 第4通信大隊等 約10名 |
| 権現山展望台 | 第4通信大隊等 約10名 |
| 隠蔵寺 | 第4通信大隊等 約10名 |
| 木斛山 | 第4通信大隊等 約10名 |

訓練イメージ



無線機付車両



アンテナの建柱

長崎県内で実施を計画している訓練内容

②航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練)

航空自衛隊の戦闘機部隊等が四国沖で実施される統合防空ミサイル防衛及び統合対艦攻撃訓練に参加し、それぞれの対処要領について演練します。あわせて、航空自衛隊の基地が使用できない事態を想定し、戦闘機が長崎空港に、救難機が福江空港にそれぞれ一時的に展開する訓練を計画しています。

【期 間】令和6年10月23日(水)～11月1日(金)(事前に準備期間を設定、福江空港における訓練は1日)

【参加部隊】航空自衛隊:西部航空方面隊、航空救難団、航空支援集団等 陸上自衛隊:第4師団

【長崎空港】人員約50名、F-2戦闘機×4機(最大)

大型テント×1、可搬型燃料タンク、可搬型給油装置、車両等

【福江空港】人員約30名、U-125A×1機

※ 訓練期間前後及び期間中、人員及び装備品等の輸送のため、輸送機(C-130H又はC-2)の運航を計画する可能性があります。

訓練イメージ

芦屋基地又は新潟分屯基地

長崎空港

福江空港

築城基地



F-2戦闘機

C-130H又はC-2輸送機



U-125A × 1(基準)

福江空港

長崎空港

四国沖
訓練空域



大型テント



可搬型燃料タンク、可搬型給油装置

- ①築城基地から長崎空港に一時展開し、燃料補給等を実施
- ②長崎空港から四国沖に進出し、訓練に参加
- ③築城基地に掃投
※期間中に3日間程度、1日1回(最大4機)の運航を計画しています。
なお、夜間の運航は計画致しません。
- ④芦屋基地又は新潟分屯基地から救難機1機が福江空港に展開し、整備等を実施後、芦屋基地又は新潟分屯基地に掃投(10月25日の実施で検討中)

長崎県内で実施を計画している訓練内容

③航空作戦(基地防空部隊の機動展開訓練)

航空自衛隊の高射部隊が、統合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、海栗島分屯基地において機動展開訓練を実施します。なお、実弾の使用はありません。

- 期 間:令和6年10月23日(水)～11月1日(金)のうち、8日間程度(事前に準備期間を設定)
- 参加部隊:中部航空方面隊第6航空団(人員約30名、車両約15台)

訓練予定場所



車両等は、民航フェリーで比田勝港に輸送後、陸路で鰐浦港まで移動し、鰐浦港から海栗島に輸送予定です。



長崎県内で実施を計画している訓練内容

④統合電磁波作戦訓練

統合電磁波作戦訓練では、陸上自衛隊の電子戦部隊が陸上自衛隊相浦駐屯地において、電波状況の確認等を実施します。

なお、本訓練では電波の収集のみであり実際に電波は発射しません。

【期 間】 令和6年10月23日（水）～11月1日（金）

【参加部隊】 陸上自衛隊陸上総隊 : 約10名（車両（NEWSを含む。）×1両）
陸上自衛隊相浦駐屯地 : 約10名（車両（NEWSを含む。）×1両）

訓練予定場所



展開する主要装備品



陸上自衛隊 NEWS*

※ NEWS: Network Electric warfare System (ネットワーク電子戦システム)
電波の収集等を実施